

佐々木知事が来市

国道バイパス工事促進などを要望



知事と語る会

市では去る8月3日、佐々木知事をむかえて次のとおり要望しました。

知事の市町村訪問は、広く県民の声を聞き県政に反映させようと、県が毎年実施しているもので、この日は県側から知事のほか、地方部長、出先機関の所長など、市側からは三役、議会の代表、商工会議所、婦人会、農協などの代表が出席し、約2時間にわたって質疑応答をしました。

市の要望とそれに対する県の回答の要旨は次のとおりです。

モデル定住圏の

選定について

「都市と農山漁村が高次に結合され、精神的ゆとりをもった、心の触れ合う地域社会をつくる」という田園都市構想及び定住構想の実現を図るためのモデル定住圏の選定については、大館周辺広域圏を選定されるよう要望したい。

答 国土庁ではモデル定住圏計画、自治省では新広域市町村計画、建設省では地方生活圏計画となっている。従って国の段階では未だ完全に一致していない状況である。しかし定住圏の設定も本年度から実施する事業であるので、近々に行われる予定である。

県では、既存の計画を踏まえながら全県的な立場から県独自の定住圏を検討していきたい。従って大館地区についてもこの方向の中で検討していきたい。

歩道橋の

設置について

市道獅子ヶ森線の獅子ヶ森歩道橋（奥羽本線と立体交差部分）を国庫補助事業とし採択してほしい。

答 同線は、児童、生徒の通学路でもあり、また、交通安全上必要があるので55年度事業として計画したい。

企業誘致の

促進について

現在、大館拠点工業団地（75,000坪）に1社だけ誘致されているが、さらに若年労働力を吸収できる都市労働集約型企

業を積極的に誘致されたい。

答 長年の懸案事項でもあるので、54年の企業の激励会を開き、公共用地の幹線を積極的に行ってきましたが、残念ながら今のところは1社だけ。しかし、7月17日からは通産省の主催で我が国の有力企業が公共開発指導というかたちで現地指導を受けているので、今後一層誘致活動を活発にしていきたい。

産業廃棄物処理施設の

設置について

産業経済の発展とともに産業廃棄物も年々多くなってきており、一般廃棄物処理場への投入は出来ない状態にあるので早急に処理施設を設置してほしい。

答 大館周辺で廃棄される産業は、木くずが多いということで、この処理が必要になってくる。この処理については大館市、又は業界と再々におたり協議を重ねてきたが、事業者の共同処理ということで、今後共地元関係者と協議しながら技術面、財政面の援助ということで進めていきたい。

公共下水道の

建設促進について

生活様式の多様化に伴い、生活排水も年々増加しており、現状では都市下水路に流入している状態であるので、生活環境衛生上においても米代川流域公共下水道の早期建設を促進してほしい。

答 53年度から国の流域公共下水道の採択基準が引上げられたことにより、当初の大館市、田代町で処理場を共有する米代川流域下水道として整備できなくなったので、公共下水道として整備する以

外にない。しかし、採択基準の引上げにより採択できなくなったものについては県は他の道府県と共に国に対し救済措置が講じられるよう働きかけているのが現状である。

県立都市公園の

設置について

長根山周辺一帯約300ヘクタールを県立都市公園として設置してほしい。

答 県でもいづれは県北地区にも1カ所県立広域公園を配置したい考えであるが、現在実施中の2広域公園（小泉湯、中央）の進捗状況を考慮しながら、具体的内容、場所、整備内容、時期等について検討していきたい。

職業訓練校の

短大昇格について

秋田総合高等職業訓練校を、より高度な実践技術者の養成をめざす短期大学校への57年度昇格について、尽力願いたい。

答 県としてもこの問題を国に要望してきたが、最近、国では全国12ブロックに15校程度の昇格方針を決定し、その中で取りあえず10校が内定しているようである。東北ブロックでは五所川原だけとの情報であり、いろいろ総合すると本県の訓練校はこれから選定する5校にはわずしか情勢であるが、是非残る5校に入るようにしたい。

国鉄花輪線の

複線電化の促進について

東北新幹線盛岡への短絡線として、その開通に合わせ、部分複線、電化等スビ

8月10日臨時市議会

新議長に

佐々木正治氏

8月10日に臨時市議会が招集され、前市議会議長伊藤悦二氏の死去に伴い、空席となっていた議長職の選挙が行われました。

選挙は市議会議員全員出席のもと記名投票が行われ、新議長に佐々木正治氏が選ばれました。

同市議会には市当局からの提出議案はなく、会期を1日として閉会しました。



佐々木正治議長

ードアップが図られるよう、その促進に尽力されたい。

答 東北新幹線が56年度開通予定なので、これが完成すると花輪線は、盛岡と本県を結ぶ重要路線となるので、これからも県としては強力に運動を進めたい。

国道7号線バイパス

(大館西)の建設について

すでに3カ年にわたって調査が行われているが、国道7号線バイパスのルート決定と工事の促進に尽力されたい。

答 当バイパスについては、かねてから建設省と県で種々検討してきたところである。54年度中には市とも打合わせルートを決定したいと考えており、第1回の打合わせ(7月31日)では、建設省、県、市の三者から担当者を決めるなど、建設促進を図っている。

国道103号線

バイパスについて

国道103号線バイパスの山館～大館間のルート決定と工事の促進に尽力されたい。

答 国道7号線バイパスとの関連があるので、国、県、市の三者で打合わせ、ルートを決定し、工事の促進を図ってきたい。

第10回 市民読書感想文を募集

第10回市民読書感想文を次により募集します。奮ってご応募ください。

<応募資格>

高校以上の大館市市民であること。

<課題図書>

課題、自由選択図書のいずれでも可
い草の花（福永武彦著・新潮文庫）
ロー紋の琴（宮尾登美子著・講談社）
鉢と十字架（遠藤周作著・中央公論）

<枚数>

400字詰原稿用紙で5枚以内

<賞>

優秀作・佳作に賞状及び賞金を贈る。
(学生の部も同じ)
1席1名(1万円) 2席1名(7千円)
3席1名(5千円) 佳作2名(3千円)

<発表>

入賞者の発表は、個人に通知するほか北鹿新聞紙上に発表します。

<締切日>

9月30日まで必着のこと。

<提出先>

市内谷地町13 市立図書館内
「第10回読書感想文係」

<注意事項>

- 作品提出の際は、次のことを別原稿用紙へ記入し、作品の上に貼付すること。
- ④題名、⑤住所、⑥氏名、⑦性別、⑧生年月日(満年齢) ⑨電話番号、⑩職業又は学校名と学年、⑪本の題名、編著者又は訳者、発行所
- 応募作品は未発表のもので1人1編に限ります。
- 応募作品は理由を問わず、返却しません。
- 必ず原稿用紙を使用し、なるべくペンで清書してください。

ぜひ あなたも参加を!

第8回 大館市無事故競争を実施

交通安全運動の意識を高めるため、今年も次のとおり「無事故競争」を実施することにしました。今年は秋の行楽シーズンや年末の事故多発時期にあわせ、特に飲酒運転、人身事故撲滅を期して10月1日から3カ月間行われます。会社の仲間や町内のグループ等でチームを編成して、多数参加されるようお願いします

<実施期間>

10月1日～12月31日(3カ月間)

<参加対象>

一般車・当市に居住する方で、家庭用又は通勤用車を運転する方々で編成したチーム
営業車・市内の会社、事業所等で、営業車を運転する方々が、事業

所内で編成したチーム

<チームの編成>

編成台数は、1チーム10台を基準とし、ただし、グループの事情によって止むを得ない場合は、5～9台まで、又は11～14台のチームも可とする

<参加申込>

参加希望者は、申込書により市役所環境保護課へ9月25日まで申込してください。申込書は環境保護課にあります

<競争の対象事項>

- 次の運転をしないことを競争します。
 - (1) 飲酒運転
 - (2) スピードの出し過ぎ
 - (3) 人身事故につながる交通違反
- ※ 詳しいことは市役所環境保護課へ
☎42-1212 内線260、283